

第2回 市立中学校再編に関する住民説明会

～「田川市新中学校のあり方に関する審議会」に
おける現在の審議内容について～

平成28年4月

説明会次第

1. 開会（19時開会）
2. 教育長あいさつ
3. 本日の趣旨説明
4. 審議会の再編案説明（資料説明およびスライド上映）
5. 意見・質疑応答
6. 閉会（21時閉会予定）

資料目次

1. 前提となった基本事項	2
2. 望ましい再編の検証	3
3. 開校までの想定スケジュール	6
4. 審議会が考える再編案	7
5. 資料	8～

1. 前提となった基本事項

再編案の検討にあたって前提となった基本事項は、以下のとおりです。

1. 小学校区を組み合わせる再編

現在1小学校から2中学校（別々の中学校）に分かれて進学する状況が一部で生じています。新中学校区は、小学校区を組み合わせる編成し、その状況を解消します。小・中学校間で教育指導の連携も強化できます。

2. 生徒数が将来77.7%まで減少

田川市立中学校の生徒数は、平成27年5月1日を起点として25年後の平成52年には77.7%まで減少する見込みです。生徒数の減少を見込んで再編を考えます。

3. 国が定める標準学級数「12学級～18学級」

法令上、学校規模の標準は、学級数により設定されています。小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされています。

4. 市の最低基準「1学年3学級以上、3学年9学級以上」

市教委は、学校規模の最低基準を「1学年3学級以上、かつ、3学年で9学級以上」としています。多様なクラス編成が可能となり、5教科（国語、社会、数学、理科、英語）にそれぞれ複数の教員を配置しやすくなるのが理由です。なお、将来にわたり安定的に学級数を確保するため、再編後の校数は2校とすることを目指すとしています。

5. 候補地は現有地から選定

再編は喫緊の課題です。新たな土地の取得は時間を要することから、新中学校の候補地は、「現中学校敷」と市が所有する「未利用地」「転用可能地」を優先して考えます。

※事項1及び4は、田川市教育委員会の再編に関する方針です。

2. 望ましい再編の検証

審議会では、望ましい再編の形を、敷地面積、通学距離、校区の枠組みなど多面的に検討しました。検証の過程においては、学校敷に最低限必要な面積を26,000㎡と仮定しました。現状のまま要件を満たす鎮西中と後藤寺中に加え、中央中は市役所駐車場を、田川中学校は旧日通工跡地を活用して、26,000㎡に達すると仮定し、検証に加えました。検証の過程は、以下のとおりです。

敷地面積の広さ

子どもたちが、充実した施設の中で学校生活を送るためには敷地に十分な広さが必要です。敷地の広さは、適正配置を考える上で最も重要な要件であると考えます。

新中学校に必要となる広さは、想定生徒数の教育活動から算出しました。必要となる教室数、屋内外運動場、その他施設から面積を積算し、製図して検証しました。また想定する生徒数と同規模の学校を視察し、運営実態から必要となる施設規模を考察しました。その結果、現行水準の教育活動を展開するには、26,000㎡が最低限必要になると判断します。これに加えて、新たな教育施策や必要となる環境整備に対応できる敷地も想定すべきと考えます。バス通学や自転車通学を採用することになった場合には、駐車(輪)場スペースが必要となります。給食施設を設置する場合には、施設用地が必要となることも考えられます。地域住民との交流施設をつくることなども想定されます。将来にわたって教育活動の広がりを担保するためには、26,000㎡を超える十分なゆとりが必要であると判断します。

現中学校敷地面積及び隣接所有地の有無は、以下のとおりです。

[単位:㎡]

学校名 土地区分	弓削田中	後藤寺中	田川中	鎮西中	伊田中	金川中	中央中
学校敷(有効面積)	24,449	26,745	24,528	35,399	21,238	20,360	22,633
隣接所有地の有無	-	-	○	-	-	-	○
利用可能性		○	○	○			○

地理的組み合わせ

学校位置は、通学距離に関係するため、地理的条件を踏まえた組み合わせの適正も重要になります。鎮西中、後藤寺中の組み合わせでは、2校が南側に寄るため、北側に位置する金川小校区に著しく長い通学距離（直線6km超）が生じます。田川中、後藤寺中の組み合わせでは、2校が西側に位置するため、南東側の鎮西小校区に長い通学距離（直線4km超）が生じます。田川中、鎮西中の組み合わせは、校地が地理的に対極にあるため、校区全体を比較的バランスよく覆うことができます（直線4km以内）。なお、大浦小校区は田川中より鎮西中が近い地域が多く、金川小校区は鎮西中より田川中が近い地域が多い状況です。中央中は全体のほぼ中心に位置するため、いずれの組み合わせにおいても校区全体をバランスよく覆うことができません。仮に西側の田川中もしくは後藤寺中を組み合わせる場合、学校間の距離が近いこと、校区間で通学距離の不整合（隣の校区の学校のほうが近い状況）が大きく生じることも問題となります。

生徒数・学級数のバランス

本再編は、小学校区を組み合わせで中学校区を編成します。それぞれの小学校区で生徒数が異なるため、組み合わせによっては学校間で生徒数の均衡が図れません。

検証過程では、当初、旧東区、旧西区の視点から、東中学校区（鎮西小校区、伊田小校区、田川小校区、金川小校区、）、西中学校区（弓削田小校区、後藤寺小校区、大浦小校区、大藪小校区）を仮の校区編成に設定して、検証しました（校区名は仮称）。

その後、地理的組み合わせ（通学距離）の検証結果を踏まえて、以下のとおり校区編成を再設定して、生徒数・学級数のバランスについても検証していきました。この設定（審議会案）は、想定できる組み合わせの中では比較的均衡が図れた組み合わせといえます。

生徒数及び学級数推計の比較

◎審議会案 【校区1…大藪小・金川小・後藤寺小・弓削田小】 【校区2…伊田小・大浦小・田川小・鎮西小】

学校別		年齢												計	[比率]
		12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳		
校区1	生徒数	197	194	177	208	223	186	192	198	180	163	168	196	2,282	[50.7]
	(学級数)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(5)	(6)		
校区2	生徒数	171	187	182	163	204	192	192	187	200	185	172	194	2,229	[49.3]
	(学級数)	(5)	(6)	(6)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(6)		

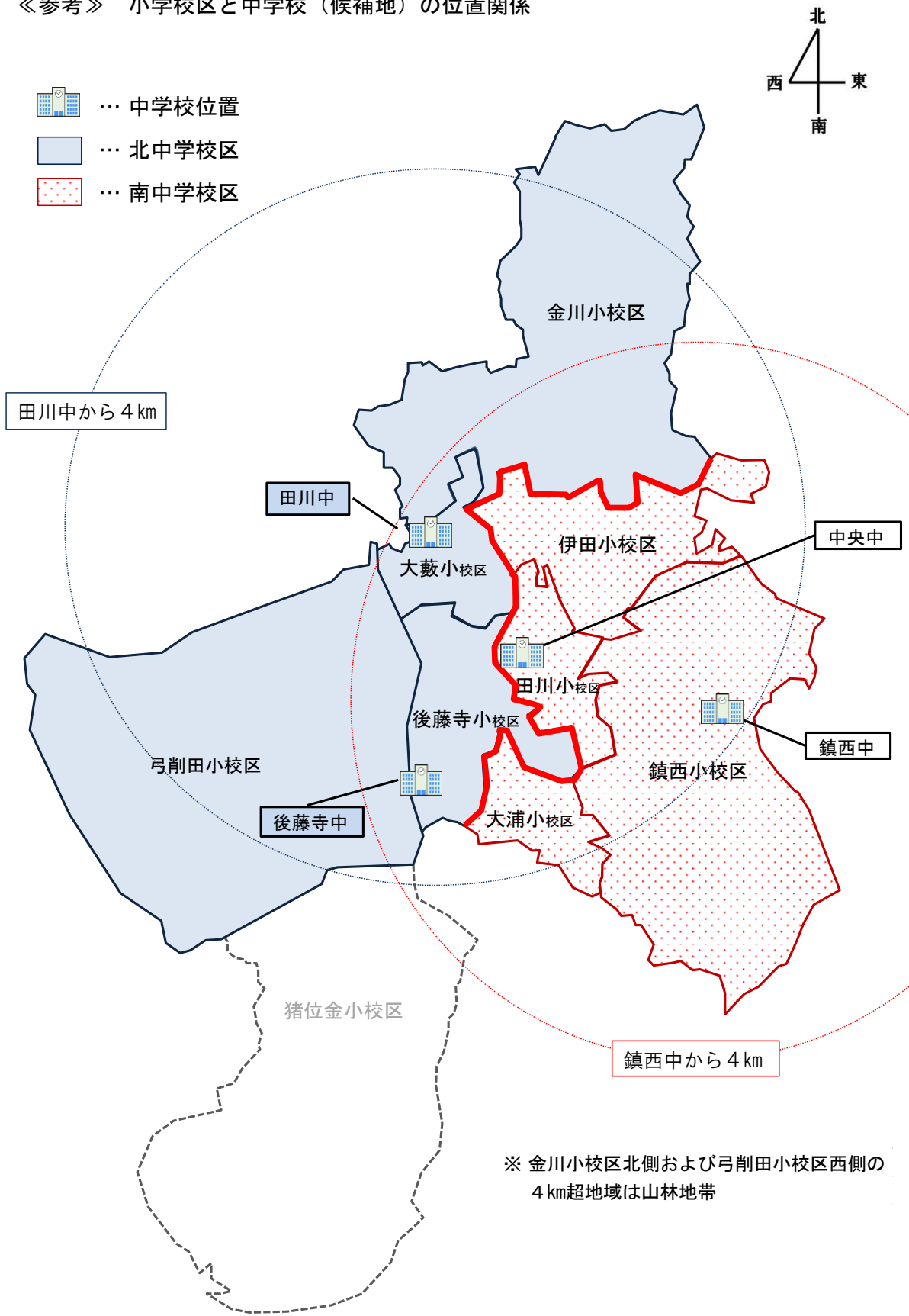
※12歳…H15.4.2～H16.4.1生まれ（H27年度 小学6年生）。再編対象は9歳以下。

◎旧東・西区設定 【校区1…弓削田小・後藤寺小・大浦小・大藪小】 【校区2…鎮西小・伊田小・田川小・金川小】

学校別		年齢												計	[比率]
		12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳		
校区1	生徒数	180	191	157	190	186	167	170	177	178	148	141	175	2,060	[45.7]
	(学級数)	(6)	(6)	(5)	(6)	(6)	(5)	(5)	(6)	(6)	(5)	(5)	(5)		
校区2	生徒数	188	190	202	181	241	211	214	208	202	200	199	215	2,451	[54.3]
	(学級数)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)	(7)	(7)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)		

以上のことを総合的に勘案し、鎮西中、田川中が適地であると判断します。

《参考》 小学校区と中学校（候補地）の位置関係



3. 開校までの想定スケジュール

審議会は、開校までに必要な合意形成や準備の期間を概ね以下のように想定します。また、この再編は、小・中学校の接続を新中学校の校区全域で一括して見直すものであるため、2校は同時に開校すべきものと考えます。

《開校までの想定スケジュール》



※議会報告・住民説明は適宜実施する

4. 審議会が考える再編案

「田川市新中学校のあり方に関する審議会」は、望ましい再編案を以下のように考えます。

再編の方法

- ・ 市内7中学校（猪位金学園を除く）を2校に再編します
- ・ 全ての対象校を廃止して、新たな中学校を開設します
- ・ 新中学校区は、現小学校区を組み合わせで編成します

通学校区

校区名（仮称）	通学校区
北中学校区	大藪小学校区、金川小学校区、後藤寺小学校区、弓削田小学校区
南中学校区	伊田小学校区、大浦小学校区、田川小学校区、鎮西小学校区

開校時期

平成33年4月（平成28年度 小学校4年生～2年生が対象です）

通学方法

- ・ 4km 以内 …… 徒歩通学とします
- ・ 4km 超 …… 自転車もしくはバス通学を検討します

※ 部活動などの課外活動を行う生徒は、帰宅時間を考慮して要件を緩和

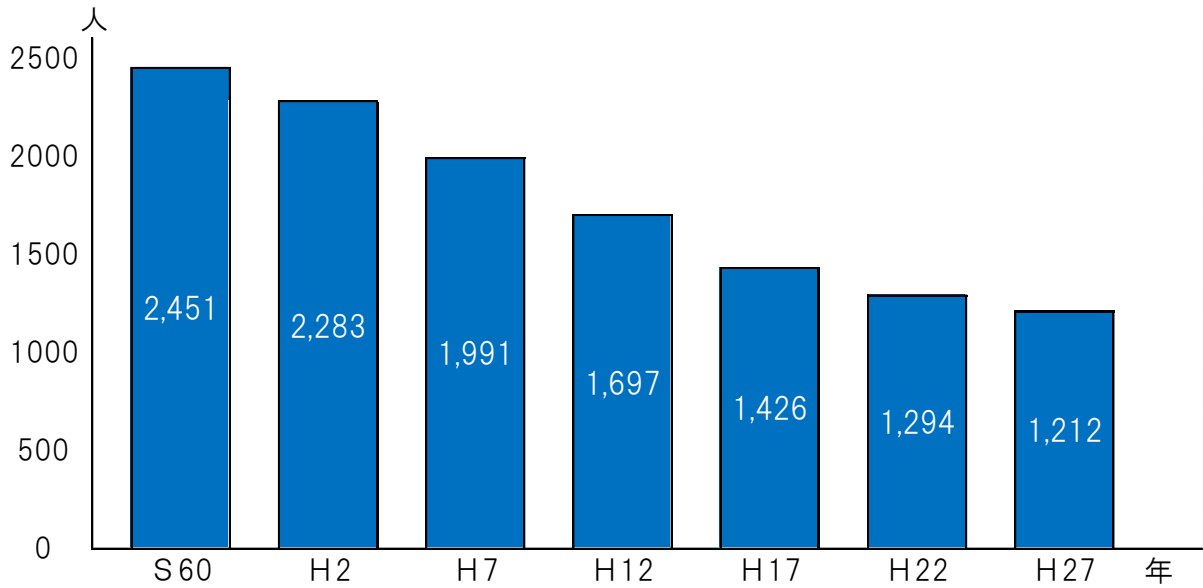
再編に求めるもの

- ・ 魅力ある学校づくり
- ・ こどもと向き合う時間を増やす体制づくり
- ・ 学力を全体的に底上げする体制づくり
- ・ 学校施設の充実

參考資料

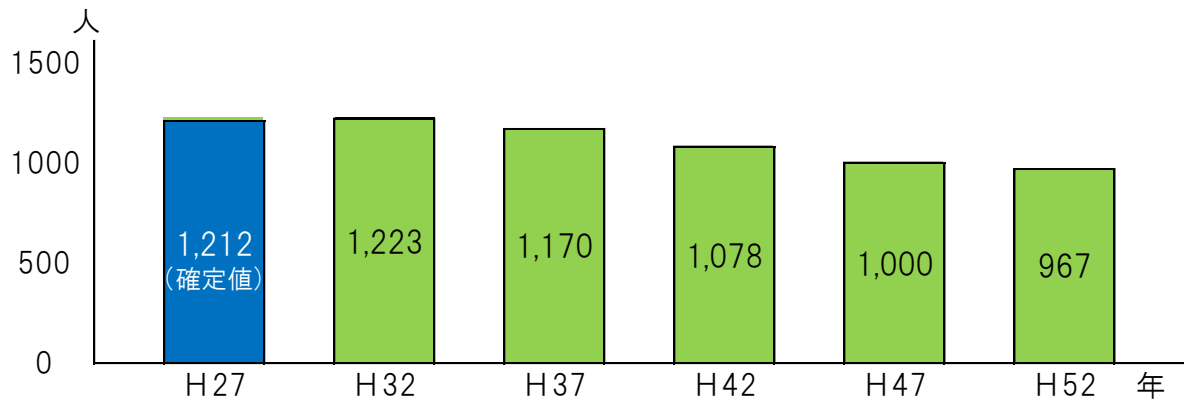
田川市立中学校 生徒数推移

《過去の推移（5年ごと）》



※文部科学省実施「学校基本調査（調査期日5月1日）」より

《将来の推計（5年ごと）》



《中学校区別推計》

(単位：人)

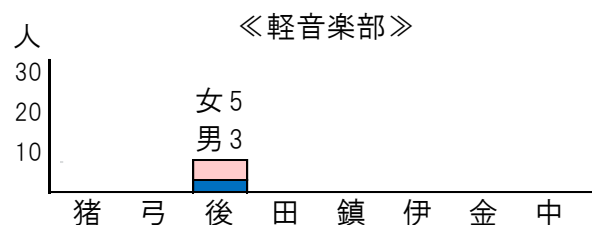
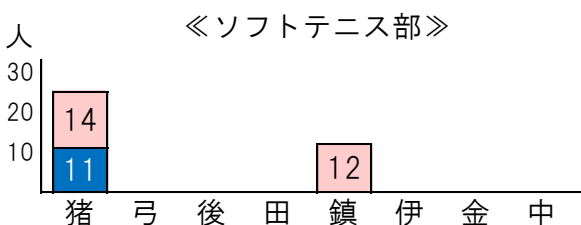
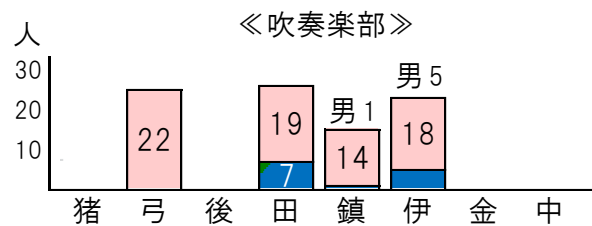
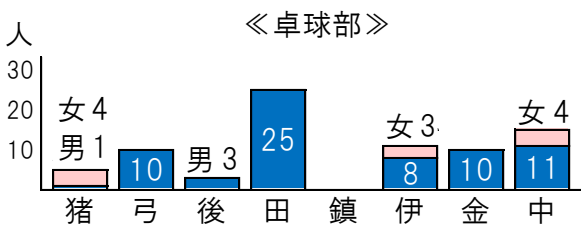
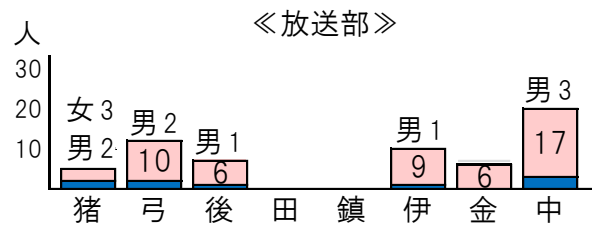
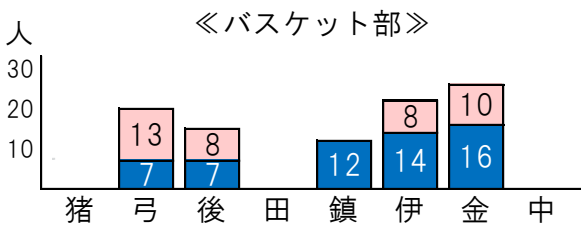
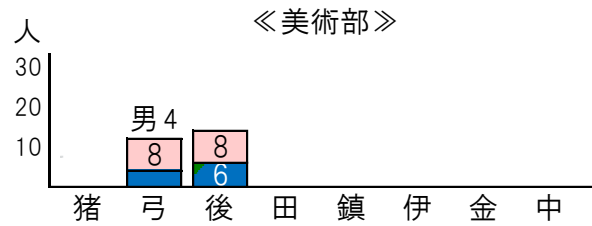
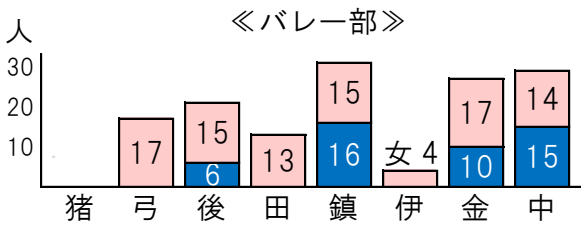
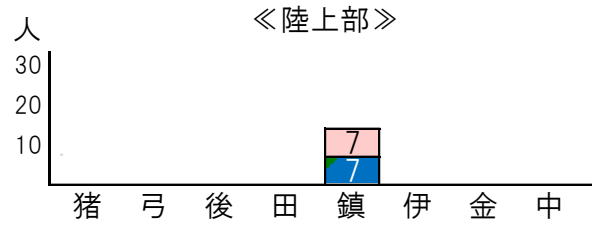
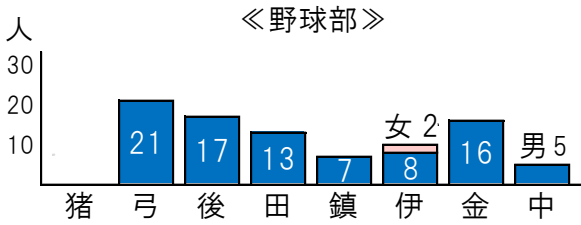
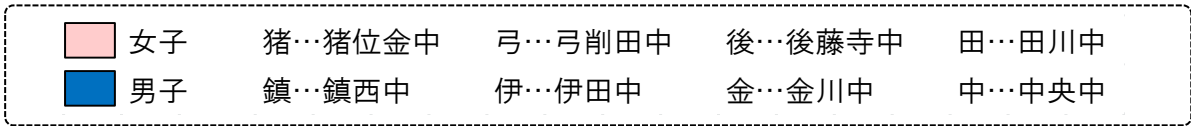
年度 中学校	H27年	H32年	H37年	H42年	H47年	H52年
猪位金中	67	66	57	56	52	51
弓削田中	205	201	193	170	158	153
後藤寺中	195	175	172	156	145	139
田川中	136	143	138	128	116	114
鎮西中	167	225	213	210	195	188
伊田中	174	139	133	121	114	110
金川中	159	164	144	126	117	114
中央中	109	110	120	111	103	98
計	1,212	1,223	1,170	1,078	1,000	967

※ 推計に用いた資料

- ・ 住民基本台帳データ（平成27年5月時点）
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」
- ・ 文部科学省実施「学校基本調査（調査期日5月1日）」

田川市立中学校 部活動在籍者数

(平成27年5月1日時点)



《合計》

学校	猪	弓	後	田	鎮	伊	金	中
合計	3	8	7	4	6	6	5	4
部種目	35	121	85	77	91	80	85	69
生徒数	67	205	195	136	167	174	159	109

[部員総数 643人 生徒総数1,212人 加入率 53.1%]

新中学校の生徒数の推移

平成33年度 開校時

学校	生徒数 [人]				学級数 [クラス]			
	中3	中2	中1	計	中3	中2	中1	計
北中学校	208	223	186	617	6	7	6	19
南中学校	163	204	192	559	5	6	6	17

※中3…H18.4.2～H19.4.1生まれ（H27年度 小学3年生）

平成43年度（開校10年）

学校	生徒数 [人]				学級数 [クラス]			
	中3	中2	中1	計	中3	中2	中1	計
北中学校	162	148	152	462	5	5	5	15
南中学校	180	166	155	501	6	5	5	16

平成53年度（開校20年）

学校	生徒数 [人]				学級数 [クラス]			
	中3	中2	中1	計	中3	中2	中1	計
北中学校	150	136	141	427	5	4	5	14
南中学校	165	154	142	461	5	5	5	15

年齢別(学年別) 生徒数・学級数将来推計

年齢		9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	△0	△1	△2	△3	△4
北中学校	生徒数	208	223	186	192	198	180	163	168	196	177	162	148	152	177
	(学級数)	(6)	(7)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(5)	(6)	(6)	(5)	(5)	(5)	(6)
南中学校	生徒数	163	204	192	192	187	200	185	172	194	189	180	166	155	174
	(学級数)	(5)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(6)	(6)	(6)	(5)	(5)	(5)

年齢		△5	△6	△7	△8	△9	△10	△11	△12	△13	△14	△15	△16	△17	△18
北中学校	生徒数	160	153	139	144	168	150	150	136	141	163	146	147	134	138
	(学級数)	(5)	(5)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)	(4)	(4)
南中学校	生徒数	170	170	156	147	165	161	165	154	142	160	157	163	150	139
	(学級数)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(4)

※9歳…H18.4.2～H19.4.1生まれ（H28年度 小学4年生）

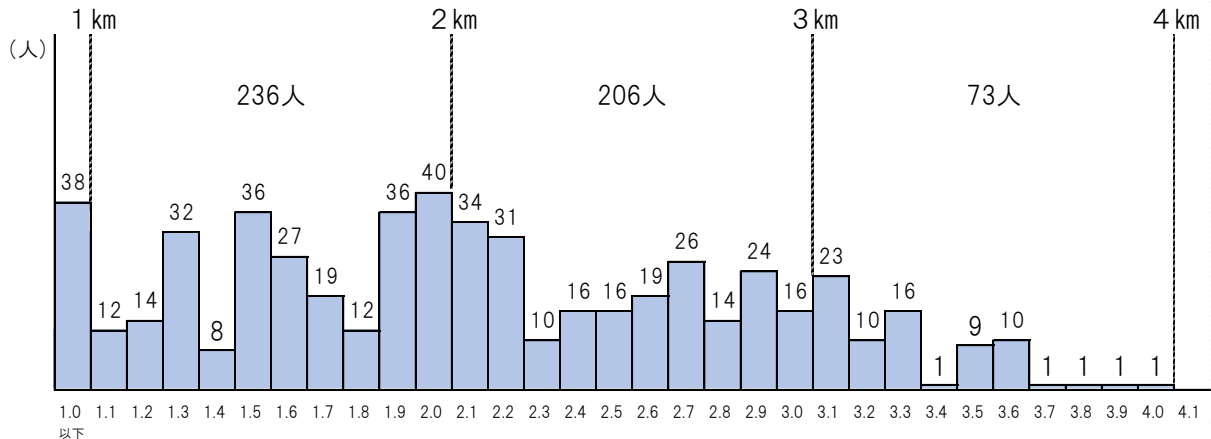
各校区の人口分布

《北中学校区内の中学生人口分布》

北中学校
(現田川中)



校区内生徒数 及び その自宅から学校までの直線距離



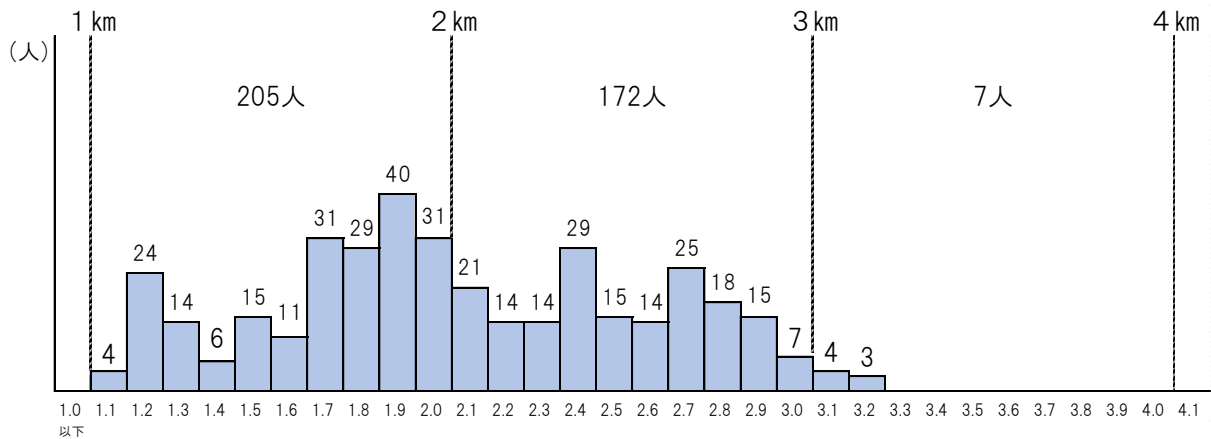
※現大藪小学校区内の151人（田川中校区）は、これまで通りの通学範囲となるのでグラフから除いています

《南中学校区内の中学生人口分布》

南中学校
(現鎮西中)



校区内生徒数 及び その自宅から学校までの直線距離



※現鎮西小学校区内の255人は、これまで通りの通学範囲となるのでグラフから除いています

【グラフの見方】

- ・各新中学校区において、生徒の自宅から中学校までの直線距離を示している
 - ・南中学校区は、伊田小校区、田川小校区、大浦小校区に住む計384人の学校までの距離を示している
 - ・北中学校区は、金川小校区、弓削田小校区、後藤寺小校区に住む553人の学校までの距離を示している
 - ・鎮西小校区255人、大藪小校区151人（田川中校区）は通学範囲が変わらないため集計から除いている
 - ・各校区ともに最大人口となる年度で集計している（北中学校区は5年後、南中学校は6年後）
 - ・各校区ともに4 kmを超える生徒はいない
- ※中学生の1割強が市外中学校に通うため、実際にはグラフから1割強程度が減少すると想定される。

北中学校区内の中学生人口分布（行政区別）

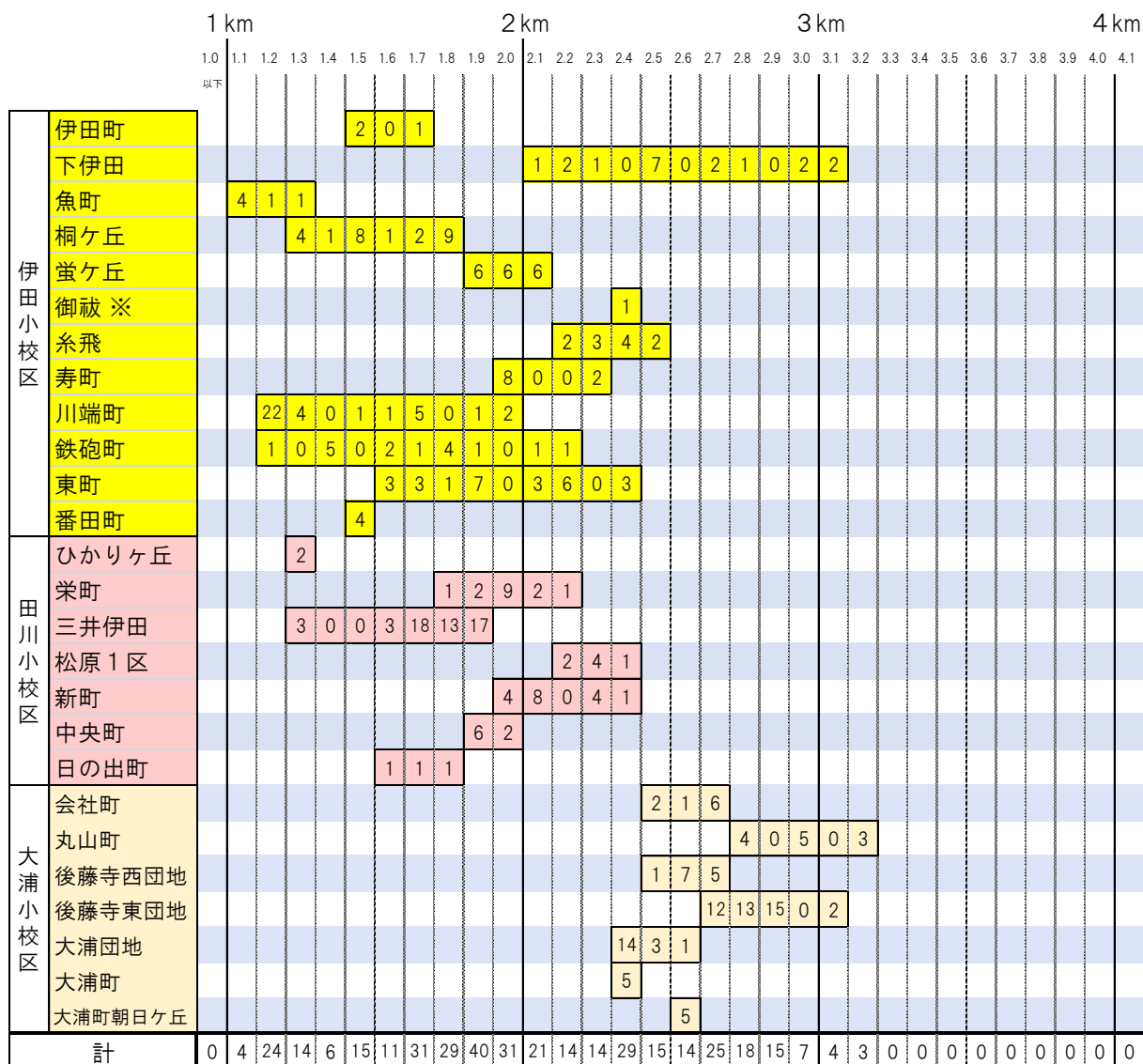
		1 km			2 km			3 km			4 km																											
		1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4.0	4.1					
金川小学校区	夏吉											2	0	0	0	1	4	0	1	5	0	4	1	2	1	1	0	3										
	夏吉2区																											1	4									
	夏吉緑ヶ丘												3	5																								
	岩屋																												1	0	1	1	1					
	吉田											4	6	3																								
	御祓																																					
	桜ヶ丘			1	3																																	
	昭和団地	7																																				
	西ヶ浦市住	20																																				
	泉ヶ丘																									1												
	田川団地							2	11																													
	日吉町	3	0	1																																		
	日吉町市住	2																																				
	立見													2																								
糺		10	6	17	4	15	11	7	0	0	5																											
後藤寺小学校区	宮尾町																																					
	高住町	5	0	3	2	2	1																															
	桜町																																					
	春日町																																					
	上本町																																					
	西平松町																																					
	西本町																																					
	千代町																																					
	大黒町																																					
	平岡	2	2	6	0	4																																
	平松町																																					
本町																																						
弓削田小学校区	下弓削田																																					
	下見立																																					
	角銅原																																					
	見立																																					
	上弓削田																																					
	新川宮																																					
	新野上団地																																					
	川宮	1	0	1	4	1	14	2	7	4	7	1	1	6																								
	奈良																																					
	文字山団地																																					
	野上																																					
計	38	12	14	32	8	36	27	19	12	36	40	34	31	10	16	16	19	26	14	24	16	23	10	16	1	9	10	1	1	1	1	1	0					

【グラフの見方】

・ P 2 9 資料「各校区の人口分布」の「北中学校区内の中学生人口分布」で示されているグラフの人数がどの行政区に住む生徒であることを示したのが本表である。

(例) 夏吉緑ヶ丘には、新中学校から2.0km地点に3人、2.1km地点に5人住んでいることを示している。

南中学校区内の中学生人口分布（行政区別）



※御祓（一部地区）

【グラフの見方】

- ・ P 2 9 資料「各校区の人口分布」の「南中学校区内の中学生人口分布」で示されているグラフの人数がどの行政区に住む生徒であることを示したのが本表である。
- （例）伊田町には、新中学校から1.5km地点に2人、1.7km地点に1人住んでいることを示している。